

発行：ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—July

発行日:2021年7月31日

ののうちまこと VOL 40

4期目の活動を始動

あっという間に時が過ぎてしまいましたが、4月18日に投票があった「松江市議会議員選挙」において、4期目の当選をさせていただきました。

今回の選挙は、41名が立候補し34の議席を争う厳しい選挙。そして、コロナ禍という状況が加わるなか、選挙期間中インターネットを利用したブログに8回投稿、Facebookに14回投稿しつつ、街頭での演説は119回以上を数えました。

街頭演説では、人口減少に取り組む総合政策として、産み育てる支援・子育て支援・産業支援・就労環境・福祉や教育の充実などに取り組む考え方や、都市計画や交通環境整備など地域に寄りそうまちづくりを進めて地域課題を解決していくことなどを訴えました。

4期目の活動を開始。松江市発展のため、また地域の課題の解決のため誠心誠意頑張っています。



開票直後に事務所で上定昭仁新市長と

コロナ対策補正予算などを議決 6月定例議会

改選後初となる6月市議会は、6月21日から7月13日までの23日間の会期で開会。このうち、条例関係では、松江市北公園ミニ遊園地の設置及び管理に関する条例の制

定など8件を議決しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策関係経費や、市長公約に掲げ早急に取り組むべき課題への対応など令和3年度一般会計補正予算2件(7億8,177万円余)を議決したほか、専決処分した令和3年度一般会計補正予算(新型コロナウイルス感染症対

策、加賀大規模火災関連経費)の承認2件(3億3,133万円余)、専決処分した令和2年度補正予算の承認10件(1億1,385万円余)などを原案通り議決しました。

(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

最近の活動から

後援会だよりが40号を迎えました

「ののうちまこと後援会だより」が今号で第40号を迎えました。2011(平成23年)11月に第1号を発行、それ以来定例市議会や活動の報告などを内容に年4回発行してきました。テーマカラーにしている濃緑の紙面を待っていた方もあり、「いつも読んでるよ」と声をかけていただくこともうれしいです。

3か月に1回の発行はすぐにやりますが、頑張って今後も発行してまいります。第1号からのバックナンバーは、「ののうちまこと公式ホームページ」で全号見ることができます。



後援会だより第1号

東出雲公民館が4月1日に開館

4月1日に「東出雲公民館」が、東出雲ふれあい会館施設を新施設完成まで使用して開館。当日は「開館セレモニー」が同施設前でありました。

町内4館が統合して誕生した「東出雲公民館」。各地域の文化活動や地域づくり活動の推進、地域の融合一体化が進むよう活動に期待しています。野々内は、東出雲公民館運営協議会顧問として活動を支援していきたいと考えています。



東出雲公民館表示板の除幕

7月大雨の被災個所の現地調査を実施

7月6日からの2回の大雨による被災個所の調査を7月15日に行いました。30か所以上の現地を見ましたが、短時間の異常な大雨によって各所で災害が発生しており驚きました。早い復旧を促したいと思います。



大雨被災現場を視察

おちらと村水車修復のお祝い

5月24日に東出雲町上意東の「東出雲おちらと村」で、地元関係者や揖屋小学校5年生が出席し、水車修復の「お披露目会」がありました。

この水車小屋は、元気高齢者の生きがいがいくりと次世代交流・伝承を目的に平成15年に当時の町が建設したもので、当時町の保健福祉課長として事業全般に関わりました。

その後数年前から老朽化で止まったままになっていたのを、地元の「NPO法人かみいとう」が中心となった募金活動やおちらと村内の「手づくり館」の皆さんの協力で、この日のお披露目になったもの。コトコトと懐かしい音が再び周囲に響くようになりましたよ。



児童が幕を引き新しい水車を披露

美保基地の状況説明会



C-2の後部を背景にして

6月8日、市議会総務委員会と正副議長で境港市の「航空自衛隊美保基地」に出かけました。コロナ禍の中で美保基地と地域の関係が希薄になっていると、基地内が変わっていく状況を見て理解を深める

目的の「美保基地状況説明会」でした。

C-2輸送機配備や陸上自衛隊美保分屯基地が開設し大型輸送ヘリコプターCH-47配備、空中給油輸送機KC-46A配備など変わっていく状況を聞き、現場視察も行いました。日本の平和と国民の生命と財産を守る自衛隊。災害派遣での献身的な活躍も学習させていただきました。

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.40を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在70歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選平成29年4月3期目当選 令和3年4月4期目当選

ホームページ、ブログはこちらから



◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

最近の災害から学ぶこと

加賀大規模火災に学ぶ

予期せぬ時に起こるのが災害です。4月1日夕方に発生した松江市島根町加賀の大規模火災は、大きな被害を出して4月2日15時に鎮火しました。島根県は4月2日に災害救助法を適用すると発表しました。

り災者は16世帯47人に上り、全焼22棟半焼0棟・部分焼5棟・ぼや5棟の計32棟と山林約2千㎡が焼ける被害が出ました。

強風下、漁村の密集地での火事の恐ろしさをまざまざと見せつけられた大規模火災でした。被災された皆様や近隣



7月5日に建設環境委員会で見学加賀大規模火災現場を視察

察の早急な救助を得ることはできません。そこで、地域の人々が協力し合って防災活動を進めることが大切であり、自分のまちは自分たちで守るという心構えでつくる「地域防災のための組織」です。

東出雲町を例にとると、単自治会84のうち「自主防災組織」は56が結成されており、結成率は66.7%（令和2年9月現在）。松江市全体の結成率は71.8%ですので、もうひと頑張りです。

また、地域における消防設備ですが、旧東出雲町では消火栓の近くに「ホース格納箱」が設置され初期消火に備えています。市内他所ではあまり見か

副議長に就任しました

5月14日開会の松江市議会臨時会において、副議長選挙によって副議長に就任しました。責任の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思いです。副議長の任期は2年、議長を補佐する役割を果たしつつ、円滑な議会運営と議会のさらなる活性化に



被災建物等の解体撤去が完了した島根町加賀の現地

の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。一夜にして財産や思い出の品々を焼失された皆様の落胆を拝察しますが、3人が軽いけがを負われたものの犠牲者が出なかったことが不幸中の幸いでした。今後の生活の再建が喫緊の課題となりませんが、一日も早い立ち直りを願っています。

また、7月6日からの2度にわたる梅雨の大雨で被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

ところで、火災については土地の形状やそのときの気候などによって防ぎようがないことが要因となる場合もあります。一方で、地元の初期消火への体制や常備消防の体制整備など、課題も多く見つけられました。今回を教訓に被害を少なくする検討と対策が必要です。

けません。今回の火災を教訓に機材の整備は必要に思っています。

梅雨の大雨からも教訓



7月7日の意宇川、出雲郷大橋付近

7月6日から12日に松江市は大雨に襲われ、意宇川は一時氾濫危険水位を超過堤防を越水する状況もありました。各地では建物・道路・水路など多くの災害が発生しています。想定外の大雨が今後が増えていくと想定されます。大雨の場合は、避難先は避難所が親戚知人宅、自宅で垂直避難かという選択は自らの判断で

努めたいと考えています。

なお、初当選から連続30回行ってきた一般質問は、松江市監査委員に引き続きできないのが残念です。その分、職務を通じてしっかりと議員活動をしていきたいと思っています。

議会での委員会等の所属は、建設環境委員会委員、総合交通対策特別委員会委員、松江

地域消防力の向上が必要

まず、課題となった地域消防力の向上等です。常備消防はその消防施設が分署等に集約され人員体制や機材が充実してきましたが、旧町に1箇所はあった出張所時代から比べると火災発生場所への到着時間の延伸は否めません。

消防署の再編状況

「2消防署2分署6出張所」を「2消防署4分署1出張所に再編」
●再編後の体制
・橋北地区（1消防署2分署）
・北消防署北部分署（未）・東部分署
・橋南地区（1消防署2分署1出張所）
・南消防署南部分署
・西部（六道）分署
・湖南出張所（救急活動に特化）

地域の防災力の強化が課題

次に、地域の体制整備を図るための人材の確保ですが、火事が発生した場合、常備消防が到着するまでの初期消火が重要になってきます。常備消防施設が集約された現在ではより重要な課題になってきました。地域には頼りになる消防団

すが、命を守る行動は身近な地域の連携や協力も必要です。

非常時には地域の助け合いが重要

災害に備えた高齢者などの災害弱者への支援体制づくりが全国的な課題となつています。また、普段からのコミュニケーションやお付き合いが有事の際に役に立ちます。近くの人々が安全かという声かけ確認も大切ですが、最近では地域との関わりが希薄になっており有事の際を危惧しています。災害の発生を止めることは困難ですが、被害を避けることは可能です。地域の助け合いは地域力の向上に努めていきたいものです。

市総合計画特別委員会委員、また、玉井斎場管理組合議会議員、松江市都市計画審議会委員も務めます。



副議長室にて

組織があります。献身的に地域を守る活動に感謝しています。しかし、勤務地や仕事の関係で近くに消防団員がいる環境は希になつてきました。そこで、自主防災組織の実効ある組織体への取り組みや、消防団OB、常備消防関係OBの活用が急務の課題だと考えられます。直接の消火活動ではなく、消防車両の進入を確保し野次馬を排除するための活動や消防水利の確保など多方面な支援活動が期待できます。そしてOB隊の組織化と公務災害対策としての補償制度が必要と考えます。地域の協力者のための支援の一つであり、今後もその支援策の実現に努力したいと考えます。（※旧東出雲町・六道町では、消防団OBによる消防協力組織を編成していました。公務災害補償をつけて関係者から安心して関わられると評価されてきました）

そして、「自主防災組織」の活動も大切です。自主防災組織とは大規模な災害のときは、交通網の寸断、通信手段の混乱、火災の発生などで消防や警

9月定例議会予定

- 9月8日（水） 本会議（会期の決定、提案説明・決算特別委員会設置）
- 9月13日（月） 一般質問
- 9月14日（火） 一般質問
- 9月15日（水） 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 9月16日（木） 決算特別委員会（質疑・分科会分担委託）
- 9月17日（金） 総務委員会・予算委員会総務分科会・決算特別委員会総務分科会・教育民生委員会・教育民生分科会
- 9月21日（火） 総務委員会・予算委員会総務分科会・決算特別委員会総務分科会・教育民生委員会・教育民生分科会
- 9月22日（水） 経済委員会・予算委員会経済分科会・決算特別委員会経済分科会・建設環境委員会・建設環境分科会
- 9月24日（金） 経済委員会・予算委員会経済分科会・決算特別委員会経済分科会・建設環境委員会・建設環境分科会
- 9月29日（水） 決算特別委員会分科会報告質疑・討論採決
- 10月6日（水） 本会議（委員長報告・質疑・討論採決、閉会）